

第4号議案

第24回参議院議員選挙必勝決議

私たちの熱い思いと強い願いを、全員の総力で結実させる投票日まで、残すところ5カ月余りとなった。

痛恨の敗北を喫してからの3年間、自公政権がもたらしたものは何だったろうか。

アベノミクスの名のもとに進められた経済政策は、一部の富裕層と大多数の勤労者との格差を一層拡大させることとなった。

また、介護業界は慢性的な人材不足に加え、2015年度からの介護報酬引き下げによる事業収支への影響により、介護事業者はサービスの効率化と体制の見直しのために事業所の統廃合等を進めている。その結果、離職者の増加や人材不足からくる過重労働等、介護従事者を取り巻く厳しい環境からは未だ抜け出せない状況であると言っても過言ではない。

残念ながら、私たちの声を国会に届ける仲間の議員が激減し、国政を通じての政策実現力の低下を招いたことも、このような事態に陥った要因であることは否めない。

2016年7月、第24回参議院議員選挙が行われる。

『かわいたかのり』は、私たちと交わした7つの約束を国政の場で達成することを誓った。私たちは介護従事者の処遇改善、そして社会的地位向上のためにも、この選挙に勝利し、『かわいたかのり』を是が非でも国政の場へ送り出さなければならない。

今回の闘いは、UAゼンセンで唯一残る参議院の議席を継承するためにも「後のない闘い」である。組合員の雇用・生活を守り、介護産業の健全な発展を求めるNCCUの産業政策、政策・制度実現のためにも、必ず勝たなければならない。

本中央委員会の名において、『かわいたかのり』の必勝に向け、一人ひとりが持てる力を余すことなく出し尽くす「強い決意」と「固い覚悟」を確認し合い、「前へ・進もう」を合言葉に、最後の最後まで闘い抜くことを誓い合おう。

以上、決議する。

2016年2月13日

UAゼンセン日本介護クラフトユニオン

第16回中央委員会